

2. 芽球形質細胞様樹状細胞腫瘍 blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm ; BPDCN

形質細胞様樹状細胞（1章 p.35 参照）由来の造血系悪性腫瘍である。皮膚原発のことが多く、体幹に暗赤色の腫瘍を形成する（図 22.52）。急速に骨髄浸潤などをきたし予後不良である。中型のリンパ球様細胞が真皮に密に浸潤する。CD4, CD56, TdT, CD123, CD303 陽性, CD3, MPO 陰性。

3. 皮膚白血病 leukemia cutis

同義語：骨髄肉腫（myeloid sarcoma）

皮膚白血病とは白血病の腫瘍細胞が皮膚へ浸潤することによって生じる皮疹（特異疹）をいい、丘疹や結節、腫瘍、紅皮症などを生じる（図 22.53）。成人 T 細胞白血病や急性単球性白血病、あるいは慢性骨髄性白血病の急性転化で高率にみられる。また、白血病に併発するが腫瘍細胞の直接浸潤によらない皮疹を非特異疹といい、蕁麻疹や多形紅斑、結節性紅斑、痒疹、色素沈着などの形をとる。

4. 多発性骨髄腫 multiple myeloma ★

骨髄における異型形質細胞の増殖疾患。皮膚症状としては、骨病変が連続性に皮膚に波及し、硬結が生じる。血行性転移による多発性結節も生じる。形質細胞の性質を反映して、腫瘍細胞は CD20 陰性, CD138 陽性。本症に伴うクリオグロブリン血症（11章 p.182 参照）、アミロイドーシス（17章 p.315 参照）により紫斑などを生じることがある。



図 22.52 芽球形質細胞様樹状細胞腫瘍 (blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm)

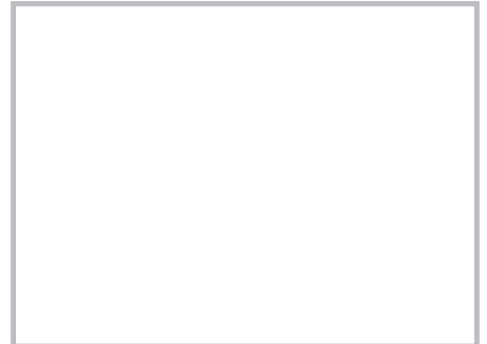


図 22.53 皮膚白血病 (leukemia cutis)

悪性黒色腫（メラノーマ） (malignant) melanoma ; MM ★



Essence

- メラノサイトの悪性腫瘍。結節型、表在拡大型、末端黒子型、悪性黒子型の4病型に分類される。いずれも黒色で辺縁不鮮明、色調に濃淡のある病変。
- リンパ行性、血行性に転移しやすく、悪性度が高い。
- 治療は早期発見、早期外科的切除が大原則。
- 近年、免疫チェックポイント阻害薬の有効性が注目されている。